

家庭の教育力向上について

1 家庭教育の現状

家庭は、すべての教育の出発点であり、原点であります。

子どもたちにとって「家庭」は安らぎのある居場所であり、親の笑顔が子どもの笑顔をつくり、家族のふれあいを通して、子どもたちに規則正しい生活習慣などを身につけていく上で重要な役割を果たしています。

家庭教育は、「基本的倫理観を養成する」、「自立する力を伸ばす」、「自律する心を育てる」、「社会的なマナーを習得する」、「基本的生活習慣を身に付ける」、「対人コミュニケーション能力を育てる」などの「生きる力」を育むものであり、近年、家庭や地域で青少年を育てる役割は、ますます、重要になっているといわれています。

また、今日的な教育課題では、都市化・過疎化の進行や家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化などを背景として、児童虐待や青少年の犯罪、いじめ、不登校など、青少年をめぐるさまざまな問題も深刻化していることが叫ばれています。

こうした状況の背景には、家庭環境や地域連携が教育力の低下に大きな要因の一つであり、私たちは、再度、家庭・地域での教育力向上について見直し、効果的な方策を見出す必要があると考えます。

2 取 組

- ・社会教育委員会による「あいさつ運動」
- ・就学前の家庭教育の講座（入学保護者説明会）
- ・町PTA家庭教育講座（PTA会員を対象）
- ・放課後子ども教室（まなび塾）
- ・子育て支援学級事業（親子体験(工作等)教室、親子クッキング）など